



ID: 1434

科目名	社会福祉援助技術論Ⅱ【26年度生用】			コード			
英語表記	Social Work Ⅱ						
担当教員名	田中 浩二			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態			
授業概要							
本講義は、社会福祉士国家試験科目の「相談援助の理論と方法」(Theory and Methods of Social Work)の内容の基礎部分にあたる。相談援助における人と環境との相互作用に関する理論、相談援助の対象とさまざまな実践モデル、相談援助の過程とそれに係る知識と技術について、基礎的に理解する。							
到達目標							
社会福祉士を目指そうとする学生に必要な基礎的な知識を習得する。本講義で基礎を学ぶことで、他の関連科目における意識や理解を深めることにつながる。援助技術の内容と関連をしっかりと理解し、以後の事例検討などの際に自ら用いることができるようになる。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション 授業の進め方、履修上の注意、評価の方法などを説明						
第2回	人間と環境について						
第3回	人間と環境との相互作用 生態学的アプローチ						
第4回	相談援助の対象						
第5回	様々な実践モデルとアプローチ①						
第6回	様々な実践モデルとアプローチ②						
第7回	相談援助の過程①						
第8回	相談援助の過程②						
第9回	相談援助における援助関係						
第10回	相談援助のための面接技術						
第11回	ケースマネジメントとケアマネジメント ネットワーキング						
第12回	アウトリーチと相談援助における社会資源の活用・調整・開発						
第13回	スーパービジョン 記録						
第14回	記録の技法とその他の技術						
第15回	まとめ 振り返り						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
定期試験によって評価する。60点以上を合格とする。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				5%		95%	
授業外学習			テキスト、教材				
			大島侑・佐々木正人編著『社会福祉援助技術論』ミネルヴァ書房(1999)本体¥2,400				
参考書			受講生へのメッセージ				
授業の中で紹介する。			資格取得を目指す学生にとっては必修となるが、資格取得を目指さない学生にも、社会福祉士の活動を理解することができる科目である。				
キーワード							
キーワード 相談援助, 理論, 方法, 基礎							